安全に関する資質・能力を身に付けさせる指導計画モデル

災害安全（震災）高等学校　防災教育年間指導計画（例）ー学校設定科目「地域学入門」を中心にー

防災教育目標：〇〇町の防災について考え、実践できる人材の育成

各教科

地歴公民科
【現代社会】
・過去の災害について

家庭科
【家庭基礎】
・災害への備え（住居について考える）

理科
【生物基礎】
・植物の仕組み（食べられる植物について）
・健康、衛生（病原体・ウイルスについて）
・生態系（環境と災害について）

国語科
【国語総合】
・被災体験を読む

保健体育科
【保健】
・応急手当、心肺蘇生法

地域学入門

単元名　〇〇町の防災課題探究

防災学習のめあて
①地域防災に関して当事者意識を持ち、自分たちにできることを考え、実践しようとする。
②あらゆる人の立場から防災について考え、課題解決につなげることができる。

防災学習の3つの柱
①　地域の防災課題を知る　②自分たちにできることを考える　③行動する

【未来へのメモワール】４月～
・津波から守り、未来に残したいものについて考える。
・一人ひとりの大切なものを守るためにはどうすればよいかを考え、防災活動につなげる。

【外部への発信】
・未来へのメモワールの取組を地域に広げる。
・近隣の小学校への出前授業を行う。

【避難所研究】５月～
・東日本大震災の調べ学習
・〇〇高校オリジナルHUG実践
・避難路検証

【被災地との交流事業】
・宮城県内の高校生との交流事業
・岩手県内の役場職員とのテレビ会議

【避難所研究】１１月～
・地域住民とのオリジナルHUG実践
・「ユニバーサルデザインの避難所」について考える。

【活動発表・〇〇町への提案】
・避難所運営マニュアル改善案

特別活動

ホームルーム
【LH】
・防災教育オリエンテーション
・〇〇高校防災カード作成
・個人備蓄袋用意
・防災LH
・人権LH

課外活動
【防災委員会の活動】
・「世界津波の日」高校生サミットへの参加
・高知県高校生津波サミットへの参加
・AMDA中学高校生会との交流会
・定例生徒防災委員会
・地域住民の方との避難路検証
・地区防災会議への参加

学校行事
【前期】
・保小中高合同避難訓練
・シェイクアウト訓練
・避難訓練（地震火災）

【後期】
・地域合同避難訓練（津波防災の日）
・避難所運営訓練
・炊き出し訓練

総合的な学習・探究の時間
・〇〇町への理解を深める。
・防災を含めた〇〇町の課題について考える。